

3-2. 河川・砂防事業

河川の流域毎に、「逃げる」「凌ぐ」「防ぐ」施策を組合せ、防災・補修・改良に、中山間地の土砂災害対策などを併せて総合的な視点で対策を進めています。

3-2-1. 防ぐ施策

①河川改修事業

①-1 河川拡幅事業(一級河川田尻川)

一級河川田尻川は、能勢町東部の主に田園風景の広がる農村地域を流れる河川ですが、河川断面が小さく流下能力が不足しているため、過去に度々、浸水被害が起きています。このため、治水安全度確保、流下能力不足解消を目指して、河川改修(河川拡幅)工事を実施しています。

平成元年より治水安全度1/10(50ミリ程度)の改修工事を繁之橋上流より着手し、藤木橋までの区間の改修が、橋の架け替えを含んで27年度に概成しています。

続いて、上流側の中田橋の架け替えに平成30年度より着手しており、今年度も継続して架け替え工事を行う予定としています。



写真-3.8 田尻川 改修済区間(奥側)と未改修区間(手前側)



写真-3.9 田尻川 中田橋(未改修)

①-2 河道掘削事業

河道を掘削して水が流れる面積を広くしています。今年度は、山辺川、一庫・大路次川、田尻川、余野川、勝尾寺川などで実施予定です。



写真-3.10 余野川(豊能町余野)河道掘削例(左:掘削前、右:掘削後)

②砂防堰堤築造事業

土石流発生危険箇所にて、砂防えん堤を整備し、下流にある人家等への土石流による災害防止に努めています。

今年度は、北川（能勢町天王）、宮谷（箕面市粟生間谷西）、オノ本川（池田市畑）で工事を予定しています。



写真-3.11 砂防えん堤 整備例 川西谷(豊能町)

③急傾斜地崩壊防止対策事業

急傾斜地にて、大雨などに起因するがけ崩れ被害を未然に防止し、人命等を守るため、擁壁や法枠の整備を行います。

今年度は、殿方地区（豊能町川尻）、下止々呂美（3）地区（箕面市下止々呂美）、箕面（2）地区（箕面市箕面）で工事を予定しています。



写真-3.12 整備状況（殿方地区 豊能町川尻）

④地すべり対策事業

地すべり危険箇所にて、対策施設を整備し、人家等への地すべりによる災害防止に努めます。

今年度は、野間西山地区（能勢町地黄）で工事を予定しています。



写真-3.13 地すべりの状況（野間西山地区 能勢町地黄）

3-2-2. 凌ぐ施策

①ため池の治水活用

農林部局と連携し、ため池管理者や市町村との協議・調整を行い、ため池の治水活用を進めています。常時水位を下げること、降雨を一時的に貯留し、河川への流出を抑制します。

今年度は、粟生新池（箕面市）で事業実施を予定しています。



写真-3.14 余水吐の切欠き設置イメージ

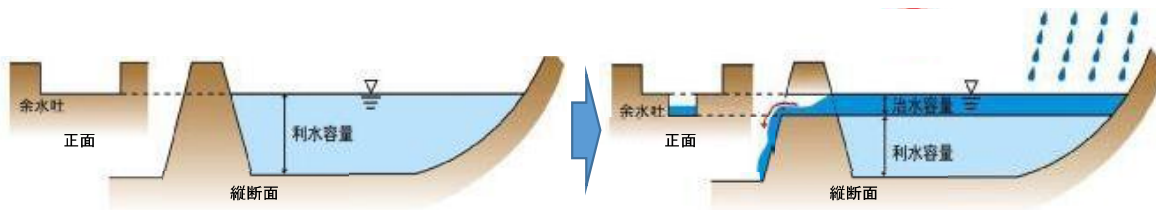


図-3.10 ため池の治水活用イメージ (左: 現況、右: 治水活用時)

②土砂災害特別警戒区域（レッド区域）の家屋移転・補強促進

土砂災害特別警戒区域（レッド区域）内の家屋に対して移転・補強費用の補助事業を実施しています。



写真-3.15 家屋の移転事例

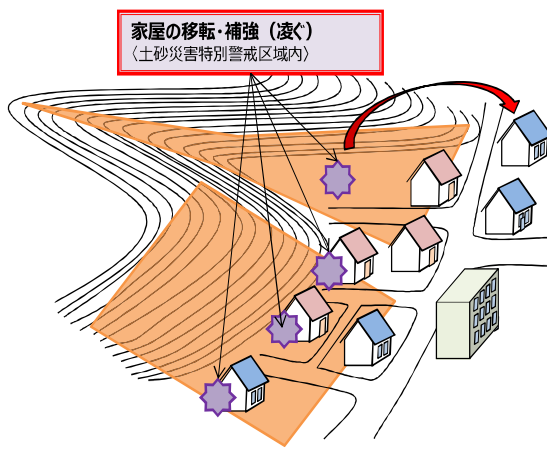


図-3.11 土砂災害特別警戒区域での凌ぐ施策イメージ (区域内家屋の移転・補強)

3-2-3. 逃げる施策

①避難行動支援事業

災害時の避難行動を支援するために、「地区単位のハザードマップ作成」、「避難訓練の実施」、「地域版タイムライン（「いつ」「誰が」「何をするか」に着目して、防災行動とその実施主体を時系列に整理した計画）の検討」などを行っています。

昨年度は、豊能町川尻地区などで取組みを行いました。今年度は、豊能町ときわ台などで取組みを実施予定としています。

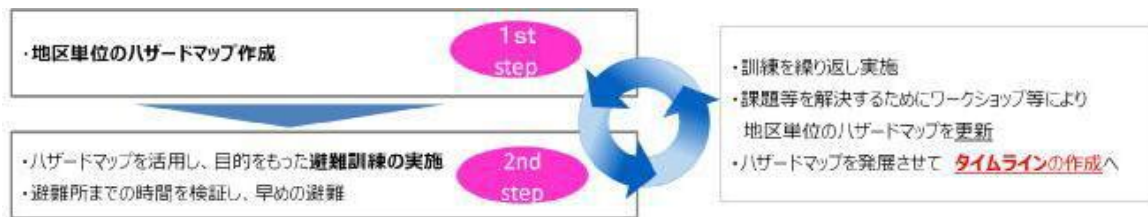


図-3.12 逃げる施策の取り組みイメージ



写真-3.16 避難訓練の実施（豊能町川尻地区）

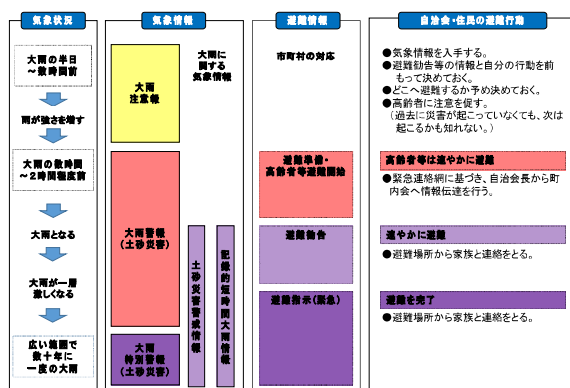


図-3.13 タイムラインの検討例